

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

各種縫製製品

株式会社ソーイング竹内

協力会社との信頼関係を構築 丁寧に心を込めて 播州織に新たな風吹き込む

各種縫製品の企画・デザイン、サンプル制作から製品生産までを一貫して手掛けている同社。仕入れた生地は自社工場では裁断し、ミシンを支給している“縫い子さん”に縫製作業を委託するという地域内分業で製品が出来上がっていきます。百貨店向けのトートバッグなどの縫製品については「メイドイン播州」を押し出す一方、イベントグッズについては中国の協力工場に委託し、量産品にも対応しています。「価格や規模、資金力でも競合他社には負けます。ただ、地域にしっかり根付き、常に丁寧に心を込めて、を心掛けてきました」と竹内裕児社長は話します。

竹内社長はハンカチメーカーで9年勤務した後、父親が創業した同社に戻ってきました。まず取り組んだのが、社員の仕事への意識を改めることでした。「委託している先を下請けと呼ぶこともやめ、発注価格を下げることもしないようにしました。一方で、我々の考えを大事にしてください。一方で、我々の考えを大事にしてください。一方で、我々の考えを大事にしてください。一方で、我々の考えを大事にしてください」と言います。そうした考え方と地場産

業を活性化させる取り組みが評価され2017年12月、経済産業省から地域未来牽引企業にも選定されました。

現在力を入れているのが自社ブランドのハンカチ作りです。地域に根付いた播州織の技術を生かしながら、今受け入れられるハンカチはどうあるべきかを考え、たどり着いたのが、播州の地で先染め織物と同じ加工工程で織り上げられた白い生地に後染めプリントをすること。「先染めの糸を織って柄を作るのが播州織の特徴ですが、あえてデザインを後染めすることを試みました」

6月に完成したばかりの新工場の内部は白を基調にし、カフェのようなオープンスペースを仕つらえています。「高齢化で不足している縫製工を今後は自前で養成したい。若い人材にもっと集まってきてほしい」との思いも込められています。「今後も播州産にこだわり、会社の血肉となる新たなチャレンジを続けていきたい」と話しています。



今年6月に完成した新工場



自社ブランドのハンカチ「播州布／BAMP」

◎株式会社ソーイング竹内の
各種縫製品

株式会社ソーイング竹内／所在地：多可町中区靴屋90／代表取締役：竹内裕児
事業内容：各種縫製品の製造
TEL 0795-32-0018／URL <https://www.sewing-takeuchi.co.jp/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」で取材したソーイング竹内。地域のことを思い、会社に関わる全ての関係者を尊重する姿勢が企業の永続性につながり、それがひいては取引先の信頼につながるということを実感しました。

JUMP

2018年9月号 平成30年8月30日発行
発行人：赤木正明 編集人：安部則行

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>